

## 『異学年指導によるアクティビティーの複線化』

湯浅 希美  
辻野 尚広  
(東川町立東川第三小学校)

【なぜ、複線化が必要なのか？～本校の実態より～】

### 3～5年生による英語活動

**3年生** 初めての英語活動。簡単な言語材料・ゲーム感覚のアクティビティーで英語に触れさせたい。会話文は、Yes/No程度で...

**4・5年生** 昨年度までの積み重ねがある。飽きることなく、英語に慣れていく活動。会話なども取り入れていきたい。

### 7名の児童に、5名の指導者という恵まれた環境

活動内容により、学年別でアクティビティーを行っている。

アクティビティーの中身の複線化については、まだまだ研修を深めなければならない現状である。

【そこで、本日は】

中学年・高学年の2グループに分かれ、複線化を体験していただこうと思います。

4時間で、色・スポーツ・食べ物・動物を学習したこととし、そのまとめとしてそれらを使った会話文の練習という時間を組んでみました。

中学年	高学年	教師の支援
前時の言語材料(全体で活動)の復習。今回は、動物。 これまでに、色やスポーツ、食べ物などを学習しておく。		言語材料(動物)の発音
Do you like □□□? Yes, I do. No, I don't.	What □□□ do you like? I like □□□.	質問文の発音 答え方の発音
アクティビティー		アクティビティーの説明 アクティビティーのモデル 個別の支援
児童は、カードを1枚めくる。全員で質問し、カードをめくった児童が答える。		
アクティビティー	アクティビティー	準備するもの
4つの各コーナー(色・スポーツ・食べ物・動物)に分かれる。 【例】色コーナー 色コーナーには学習した色のカードが置いてある。 児童Aが適当にカードを引く。 児童Bが質問し、児童Aがそれに答える。 児童Aは列の最後へ。児童Cが質問。児童Bが答える。		アクティビティー ・4言語材料の小カード
アクティビティー (ペア)	アクティビティー (ペア)	アクティビティー ・各コーナーの大カード
Do you like □□□? Yes, I do. No, I don't.	What □□□ do you like? I like □□□.	アクティビティー ・シール
教師がコーナーを決める。 児童は2列で対面の形に整列する。 一方の列は、質問列。もう一歩の列は答え列。 スライドしていき、全員との練習が終わったら、質問列と答え列が交代する。	教師がコーナーを決める。 ペアで自由に練習。お互いに言えたら、相手のシールをもらう。 よりたくさんシールをもらった人を賞賛。	アクティビティー ・カード
	アクティビティー	
	リレーゲーム	

異学年での活動ではなくても活用できると思います。少しでも参考にいただければ幸いです。

